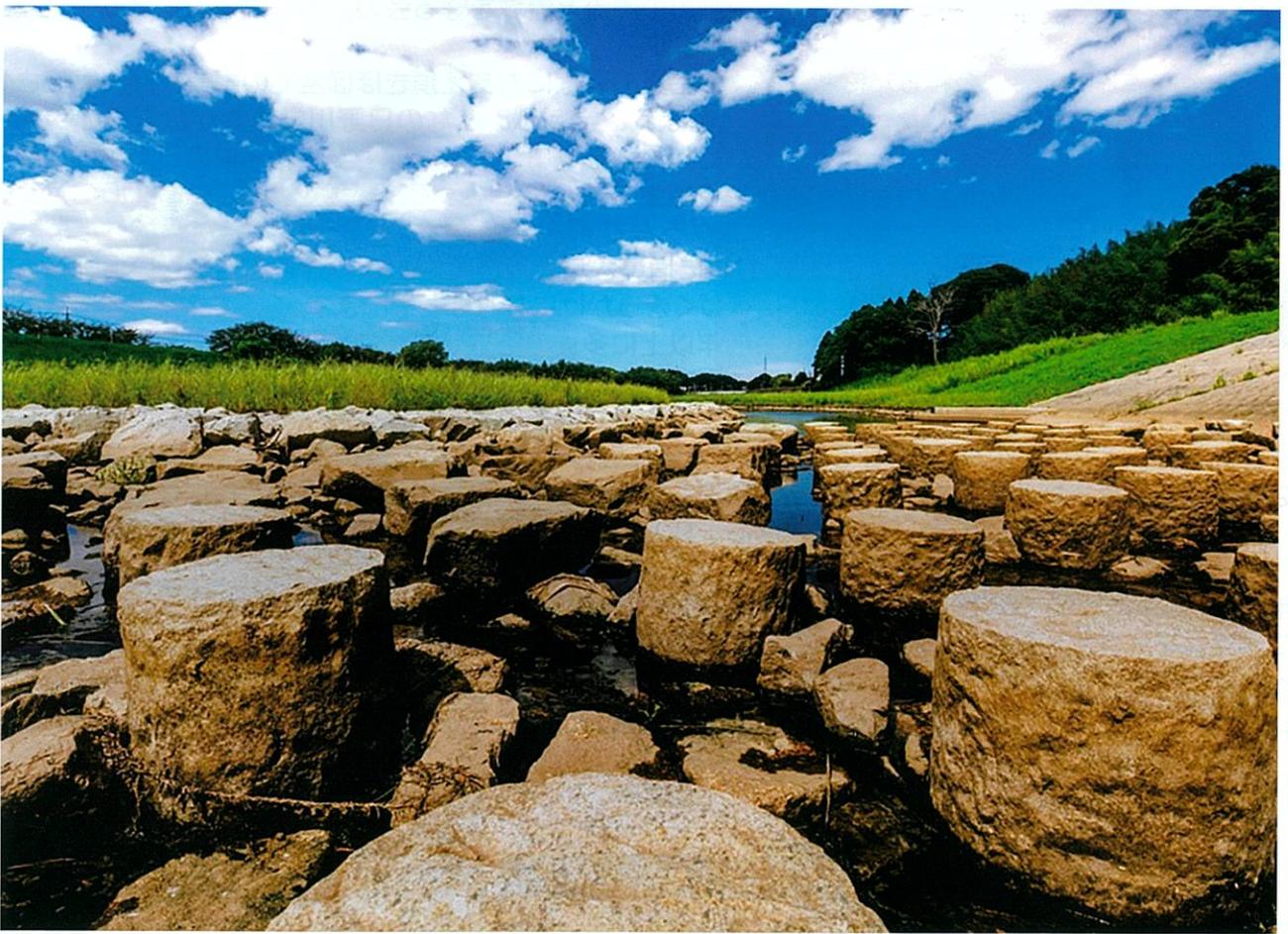


日野川の源流と流域を守る会

会報

しのがわ

第46号



日野川フォトコンテスト2024 一般部門

題名：水辺の飛び石

撮影者：村川 節秀

撮影地：米子市兼久（水辺の楽校）

＝ 目 次 ＝

- 令和7年総会開催報告 2
- 日野川フォトコンテスト2024入賞作品紹介 3
- 日野川フォトコンテスト2025作品募集／藤原自然保護監視員の植物紹介 4
- 森と水に親しむ補助金活用団体の活動報告 5
- 令和7年イベント案内／会員募集 6

「日野川の源流と流域を守る会」の活動は、県民の参画と協働による森づくりを推進する「豊かな森づくり協働税」を活用しています。



令和7年 総会開催報告

今年の総会を開催し、令和6年決算、令和7年事業計画・予算及び役員改選等について原案どおり承認されました。引き続き、活動に御理解、御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

日時：令和7年3月7日(金) 14:00～16:30

場所：米子市文化ホール イベントホール

- 議事 令和6年事業報告、同決算及び監査報告
令和7年事業計画及び収支予算、役員改選

○日野川フォトコンテスト2024入賞者表彰式（入賞作品を3ページに掲載しています。）

— 松村会長挨拶 —



会員の皆様には、日野川の源流と流域を守る会の活動に御理解、御協力を頂いております事に感謝申し上げます。

令和6年度も、多くの会員の皆様にお支え頂きほぼ全ての事業計画を実施させていただきました。その内、「遊ぼう、学ぼうみんなの日野川学校」が悪天候の為、中止となったことが大変残念でした。本プログラムは、小学生を対象に日野川の自然を探訪するもので、水生昆虫や植生を通じ学ぶもので、募集定員20名に300名近くの応募を頂く大変人気のプログラムです。参加予定のお子様は大変残念だったと思います。今年度は、定員を30名に増員させて頂き実施する予定です。多くのお子様に参加頂き、日野川の良さに気づくきっかけになればと思います。

写真コンテストも例年以上に多くのそして優秀な作品をご応募頂きました。ご応募いただきました皆さんの関心の高さを有難く思います。今回は、日野川と旧日野橋と大山を1枚に収めて頂いた作品が多くありました。米子に生まれ育った私にとりましてはその全てがランドマークであり、楽しく見せて頂きますと同時に、この地域の財産として皆さんで大切に守りたいと改めて誓いました。入賞作品は、これから様々な場所で展示をさせていただきます。写真をご覧頂く多くの方が、日野川の大切さやここに住ませて頂く幸せに付きお気づき頂ければと思います。又、小さなお子様方にもその素晴らしさをお話頂きます事が真のふるさと教育になると考えます。

今年度は、川海の繋がり体験として昨年度オープンした境港水産物卸市場の見学・学習を含め例年同様に多くのプログラムを実施させていただきます。会員の皆様の積極的なご参加を通じ、豊かな山々と美保湾を繋ぐ日野川の魅力と大切さの発信を続けてまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和6年収支決算

(単位:円)

収入	2,573,526
支出	1,549,745
残額	1,023,781

※残額は翌年度に繰越

役員改選

前橋 知之 前副会長に代わり、一般社団法人境港水産振興協会 江尻 敏美 会長に就任いただきました。

令和7年収支予算

(単位:円)

【収入】

区分	前年予算額	本年予算額	増減
繰越金	732,434	1,023,781	291,347
会費	886,000	881,000	▲5,000
補助金	1,000,000	1,000,000	0
その他	5	100	95
計	2,618,439	2,904,881	286,442

【支出】

(単位:円)

区分	前年予算額	本年予算額	増減
会議費	100,000	60,000	▲40,000
事業費	890,000	1,000,000	110,000
広報費	200,000	240,000	40,000
助成金	300,000	450,000	150,000
事務費	210,000	180,000	▲30,000
予備費	918,439	974,881	56,442
計	2,618,439	2,904,881	286,442

○講演会 演題：「こんな昆虫に出会った」 ～鳥取県西部の昆虫～

講師： 干村 隆司 氏（鳥取県生物学会会員）

自然観察会でも講師をお願いしている干村講師に源流から河口までの日野川周辺、大山、鏡ヶ成などをフィールドに長年の調査活動で出会った様々な昆虫について、貴重な映像とともに生態等や日野川の環境についてご解説いただきました。

また、講演の最後に「たくさんの昆虫がいることを知ってもらい、これからも日野川や周りの自然を大切にしたい。」というメッセージをいただきました。



日野川フォトコンテスト2024 入賞作品介绍

日野川の素晴らしさを広く伝え、恵まれた環境を次の世代に引き継いでいくため、流域の自然、山、森、里山の風景、生活文化などを対象とした写真作品のコンテストを行いました。

多くの応募作品の中から選ばれた一般部門、スマホ部門、それぞれの入賞作品を御紹介します。

一般部門



「日野川の白鳥」

藤井 勝彦

金賞

(撮影地：米子市福市)



撮影者の
ひとこと

日野川に白鳥が居ることを聞いていたので、白鳥と大山を撮るために朝早く出かけ、写真に収めました。



「夢の彼方」

土井垣 伸治

銀賞

(撮影地：伯耆町)



撮影者の
ひとこと

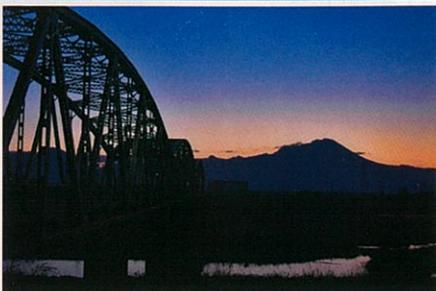
夜空に表れる天の川を見ていると、宇宙の広さを想うことはありませんか？でもとても想像つきません。未来は、あの星に行けるようになるのでしょうか？



「旧日野橋と大山の夜明け」細川 慶治

銅賞

(撮影地：旧日野橋ふもと 米子市車尾6丁目)



撮影者の
ひとこと

有形文化財の曲弦トラス橋である旧日野橋と百名山の大山を入れることで米子を代表する景観の夜明けを撮り込んだ。

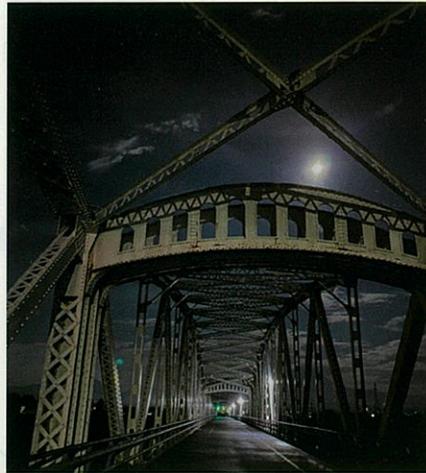
スマホ部門



「旧日野橋から望む秋の月」永田 茂雄

金賞

(撮影地：旧日野橋)



撮影者の
ひとこと

日野川にかかる旧日野橋は今年で95歳(昭和4年完成)。日暮れの橋を渡りながら眺めると、トラスの間に秋の月が輝いていました。自然と人工物が織りなすこの景色も、長い年月を経て、日野川の魅力となっていると思い撮影しました！



「霧の日野川」

銀賞

真砂 昇平

(撮影地：日野川河口付近)



撮影者の
ひとこと

朝の散歩の時、朝霧がたち日野川が朝日に照らされ幻想的な景色が見られたので、バックに大山を入れて、鳥取県西部の代表的な風景作品に仕上がったと思いました。



「静かなる躍動」

銅賞

井上 勝博

(撮影地：皆生大橋付近)



撮影者の
ひとこと

日の出と共に水面を跳ねる魚に出会いました。波紋に朝日の反射光が揺らめいてとても幻想的でした。太陽の壮大な動きと魚の躍動が静かな川で重なる瞬間を切り取りました。今日も素敵な1日になりそうな気持ちにしてくれる日野川です。

日野川フォトコンテスト2025 作品募集

日野川と日野川を取り巻く四季折々の美しい自然景観、流域に息づく人々の暮らしや伝統文化など、日野川の魅力を伝える写真を、一般とスマホ、2つの部門で募集しています。各部門それぞれに金賞、銀賞、銅賞を選出し、賞状と副賞を贈呈します。

■撮影対象■

日野川及び日野川流域の自然、里山の風景、流域の人々の生活文化など、日野川に関係のあるもの

※1人につき1部門1点の応募とします。



ひのりん

■応募締切■ 10月31日(金)

一般部門

応募作品：四つ切またはA4サイズ

応募方法：写真と、必要項目を明記した作品募集チラシの裏面の応募用紙を郵送または持参

《必要項目》

- ①作品タイトル
- ②作品への思い
- ③撮影年月
- ④撮影場所
- ⑤撮影者氏名
- ⑥住所
- ⑦連絡先

スマホ部門

応募作品：画像データ

応募方法：右の二次元コードを読み取り、リンク先の「とっとり電子申請サービス」で必要項目を入力し画像データを添付し送信



藤原自然保護監視員の植物紹介

～夏の日に涼しそうなギンバイソウ～

◇日野川の支流の何か所かで見ることの出来るギンバイソウをご紹介します◇



山地の谷沿いの湿った斜面など、やや涼しいような場所に生える多年生草本です。葉は対生し長さが10～20cm、先端は2つに浅く裂けて鋸歯があります。葉の両面には粗い毛が生えています。花序は茎の先につき、10～20個の白い花をつけ、はじめは苞に包まれて球状の形をしています。

花は装飾花（中性花）と両性花があります。中性花は花弁のような大きな萼片が3枚あります。両性花は花弁と萼片が5枚ずつあり、雌しべは1個、多数の雄しべに囲まれています。5枚の花弁をウメの花に見立ててギンバイソウの和名がついたと言われていました。



花序



両性花

ギンバイソウが開花する頃になると、この場所には毎年多数のヨツスジハナカミキリがやってきます。競うように吸蜜をしているので、観察するのも楽しいです。



ヨツスジハナカミキリ

ギンバイソウは山菜でもあり、若葉のうちは食用になるようです。

日野川支流沿いのギンバイソウは株数が少ないので、採取しないようお願いしたいです。

森と水に親しむ補助金活用団体の活動報告

将来を担う子どもたちや流域住民の方々に体験活動を通して、日野川流域の森や水辺の自然環境、歴史文化などに対する理解を深めてもらうため、森や水に親しみ学ぶ活動をされている3つの団体の取組を支援しました。そのうち昨年新たに取り組み始めた2つの団体の活動を紹介します。

【一般社団法人とまりぎ】

～日南町霞歴史探索事業～ (8月11日～12月8日)

一般社団法人とまりぎは「地域の価値を次世代に手渡す」コンセプトをもち、令和6年4月11日に発足しました。日南町霞のかつての大庄屋本久代邸を拠点に子ども達の原体験につながる異世代交流と価値ある体験活動の場の提供を行っています。

本事業では、長命水源、霞城跡の環境整備及び地域の歴史と水源の関わる学習を展開しました。霞城は霞地域の南方「上三要害」にあり、山頂には三段の平地と後方には、堀切の後も残っています。その昔、霞城は、地域に伝わる水を大切にされていました。霞城の城主である金井弾正（霞神社に奉られている）は、近くに流れる水を「長命水」と命名し、戦の時の「隠し水」として大切に扱われ、城を守ったと伝えられています。しかし、現在そのような地域の歴史についてほとんど知る人もなく、古老の話も伝承できていません。



長命水の源流

そこで地域の古老から霞城のいわれを学び、「長命水の源流」の場所を探索しました。森林整備のために新たな林道があちこちにでき場所の特定に至らず、山をよく知っておられる地籍調査員、狩猟家、昔子どもの頃に霞城で遊んだといわれる複数の古老に話を聞いたり現地に来てもらったり、何度も探索し場所を確定することができました。

管理しておられる牧場組合の了解をいただいて、12月7日に霞自治会長、地域づくりの会長さん、とまりぎ会員、関心のある家族総勢10名で、長命水の整備や看板を立てることができました。

今後も、この活動の周知や霞地区の歴史や自然の恩恵を伝承するとともに、日野川の清流の美しさにふれ、川に親しむ活動を継続させていきたいと思えます。



霞城と長命水



長命水の看板立て

【日野町 やっちら会】

～YASUHARA ヒメボタル写真展の開催～ (11月1日～13日)



ボランティアを募り
大滝への歩行路整備

我が集落名から「安原会」、転じて「やっちら会」は、地域消滅への危機感を共有しながらも、義務とか責任とかではなく、自分たち個々の発意を第一議に、楽しみながら地域づくりに取り組む集まりです。裏山に生息するヒメボタルの観察を始めたのは10年ほど前。忘れもしない2018年の7月1日、日野町公民館長の神庭賢一さんを講師に招き、皆で裏山に上がったところ、カウンターでは計測できない無数のヒメボタルが一帯で光っていて、それはあたたかも「地上の星雲」のような驚くべき光景でした。以来、その時の印象を“100”として皆が脳裏に刻み、翌年からシーズン中、毎晩「発光指数」として記録に残し、こうした経緯に並行して、遠方から熱心な写真愛好家の方々も来られるようになり、素晴らしい写真がストックされてきました。



大滝に舞うヒメボタルとゲンジボタル

ヒメボタルが子孫を残すために光るのは、6月下旬頃の2週間ほど。ピークとなるのはその間の2～3日。しかも日没後、8時から9時までの1時間だけ。それは予測なしで、偶然には決して見るできない光景です。また昨年は山奥に四段から成る大滝を見つけて、そこへの歩行路を確保したことで一挙に機運が高まり、11月に写真展を開催することにしました。



子供たちも観てくれた
写真展の様子

期間中の来場者は町内外から130人余り、うち中学生以下30人。ご覧になった皆さんからは、初めて見た、初めて知って驚いたとの声が多く寄せられ大好評でした。今期は日野学園でも写真を展示させていただき、6月28、29日には観察ナイトウォークを開催して、写真とは違うそのリアルな光景をご覧いただきました。



「やっちら会」
活動情報

令和7年 イベント案内

日野川とその流域の魅力にふれてみませんか。*お問合せは事務局まで

森林整備体験と自然観察会



【期 日】 令和7年5月25日 (日)
【場 所】 日野町上菅、鵜の池公園

日野川の自然環境と希少生物を守る体験活動

【期 日】 令和7年7月27日 (日)
【場 所】 日南町土屋

川海の繋がり体験



【期 日】 令和7年6月21日 (土)
【場 所】 境港水産物卸売市場

日野川源流探訪

【期 日】 令和7年9月27日 (土)
【場 所】 日南町新屋周辺

学ぼう!遊ぼう!みんなの日野川学校



【期 日】 令和7年7月19日 (土)
【場 所】 カワコふれあい公園 (日野町下菅)

日野川支流の魅力発見ツアー

【期 日】 令和7年10月26日 (日)
【場 所】 日野町根雨及び上菅

日野川の源流と流域を守る会

会員 募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています。

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しませんか?

当会の活動に興味をお持ちの方は、入会手続きや会費などについて、事務局までお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

・Eメール・ファクシミリ

常時受付・内容確認後に返答させていただきます。

・電話

月～金曜日 8:30～17:15 (年末年始、祝日等除く)

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章の理念】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会